

# ひろの 議会だより

## 祝 広野町成人式

### 復旧・復興、生活環境整備の補正予算

P5 安全・安心して生活できる環境整備を (12月補正予算)

P6 議会の新体制決まる (初議会)

P9 駅の整備や補償・賠償に関する事など 6人の議員が町政を問う(一般質問)

夢や希望を胸に羽ばたく新成人!

(平成28年 広野町成人式)

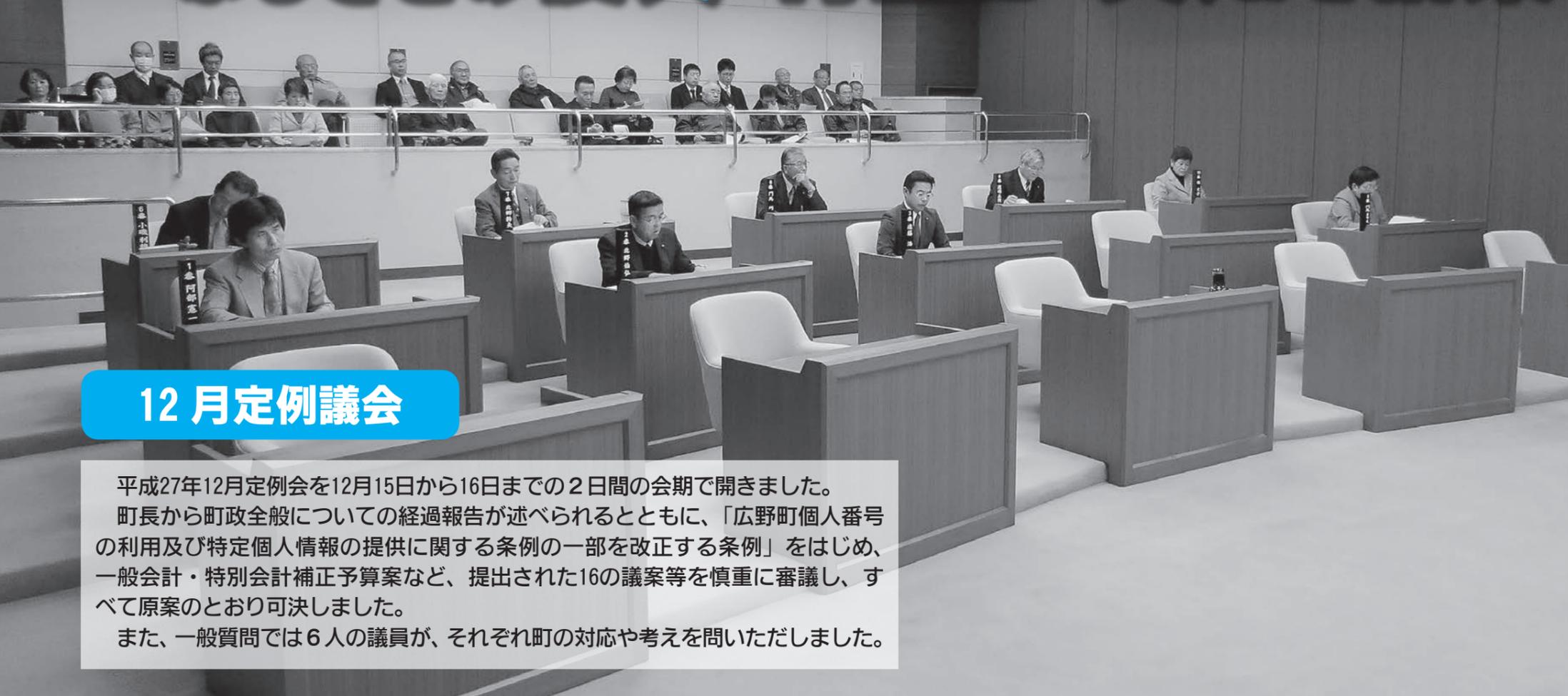
No.128

平成28年 1月22日発行  
福島県広野町議会

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

# 平成27年第4回定例会開催

# ふるさとへの復興・再生に 英知を結集



## 12月定例議会

平成27年12月定例会を12月15日から16日までの2日間の会期で開きました。

町長から町政全般についての経過報告が述べられるとともに、「広野町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例」をはじめ、一般会計・特別会計補正予算案など、提出された16の議案等を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

また、一般質問では6人の議員が、それぞれ町の対応や考えを伺いました。



広野小学校6年生が傍聴しました

## 新年のごあいさつ

広野町議会議長 黒田政徳



平成28年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には輝かしい新春を迎えられたこと心よりお慶び申し上げます。

広野の復興とさらなる生活環境の整備など事業展開している町とともに町内で生活するための条件整備に努めて参りました。

今年、公設商業施設ひろのテラスのオープンや、安全安心のための防潮堤や県道広野小高線の開通など一歩ずつではありますが目に見えぬ形で復興が進んでおります。

しかしながら、町民の帰還は進んでおらず、いまだに町外の仮設住宅や借り上げ住宅に住み避難生活を続けている方もいるという厳しい現状を理解しつつ、昨年11月には町議会議員選挙が執行され、新たに10人の議員が選出されました。

議員全員が初心に帰り、新しい気持ちで町民の負託にこたえるべく、住民福祉のますますの向上を図り、一日でも早いふるさと広野の復興に努力して参ります。

## 12月定例会人事

### 教育委員会委員

教育委員会委員に根本珠美氏を再任することになりました。任期は、平成27年12月25日から4年間で

再任



ねもと たまみ 根本 珠美さん (大字上浅見川)

### 選挙管理委員会委員 および同補充員

平成27年12月22日をもって任期満了となることから、新たに委員4人、補充員4人を選任しました。任期は4年間です。

#### ■選挙管理委員会委員

- 新任 日和田正勝 氏 再任 大和田高男 氏 (大字折木)
- 新任 内田 明美 氏 再任 大平与志夫 氏 (大字折木)

#### ■選挙管理委員会補充員

- 根本 智夫 氏 横山 俊雄 氏 (大字上浅見川)
- 猪狩 光司 氏 島村 洋 氏 (大字上北迫)
- (大字上北迫)
- (大字下浅見川)

# 3件の工事議案を可決

## ●桜田住宅の外壁等を修繕

震災の影響で建物全体に亀裂や住宅内に雨漏りが発生しているため、外壁を修繕する工事の議案を可決しました。



屋上の防水修繕も実施

**工事の名称** 桜田住宅外壁等修繕工事  
**施行場所** 下浅見川字桜田地内  
**工事請負代金** 5832万円  
**工期** 着工 平成27年12月17日  
 完成 平成27年3月18日  
**請負者** 堀江・金村特定建設工事  
 共同企業体

## ●給水管設置を1箇所削減

駅東側第1期開発整備区域配水管布設工事について、宅地内給水管を14箇所設置する計画でしたが、既設給水管の利用が可能のため1箇所削減することによる変更契約の議案を可決しました。

**工事の名称** 広野駅東側第1期開発整備  
 区域配水管布設工事  
**施行場所** 下浅見川字広長地内・他  
**工事請負代金** 6210万円を  
 6183万円に変更  
 (27万円の減額)  
**工期** 着工 平成26年12月15日  
 完成 平成27年12月25日  
**請負者** 北陽管工有限会社

## ●公設商業施設の設備を充実

テナント厨房機器設置、防犯カメラ設置、施設進入誘導看板設置のための変更契約の議案を可決しました。

**工事の名称** 公設商業施設建築工事  
**施行場所** 下北迫字苗代替地内  
**工事請負代金** 4億5144万円を  
 4億9475万6640円に変更  
 (4331万6640円の増額)  
**工期** 着工 平成27年7月4日  
 完成 平成28年1月29日  
**請負者** 常磐開発・西本建設特定建設  
 工事共同企業体

## 地元建設業者が育つよう配慮せよ

塩 史子議員

大和田総務課長

共同企業体を組むのに、工事や建築は何千万円以上という決まりがありますか。決まりがあればいつ頃決まったことなのか。地元企業を育てる気があれば、決まりがあるのかも知れませんが、共同企業体を組まずに単独で契約をするなど少しでも大きく育つよう取り計らっていただけないですか。

共同企業体を組むための決めはありませんが、工事内容により町で決定しています。今回の請負金額では特定建設業の資格が必要であり、資格を持っている業者が町内には2社しかいないため、今回、町内の業者6社と浜通り大手の6社で共同企業体を組んでもらい、その業者を指名した状況です。

遠藤町長

町内の建設業組合のスキルアップ、組織力を高めていくために協議していきたいと考えています。

## 全会一致で可決

# 6億3261万円を増額補正

### 復興交付金基金費 (復興のための予算など)

#### 補正の結果

会計名	補正額	(補正後の予算額)
一 一般	5億4923万円	(120億4161万円)
国民健康保険特別	▲71万円	(11億6294万円)
土地開発事業特別	3246万円	(6992万円)
公共下水道事業特別	5136万円	(4億2349万円)
農業集落排水事業特別	4万円	(3075万円)
介護保険特別	23万円	(5億4616万円)

#### 主な内容

○復興交付金基金費(復興道路整備事業分の積立金)	3億2365万円
○除染対策費(減容化後の飛灰保管建屋建設委託)	1億1690万円
○地域振興対策諸経費(広野町被災地域テレワーク推進事業)	7313万円
○し尿塵芥処理費(減容化処理残渣物の仮保管場整備事業)	1640万円

※金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。

## 繰越明許費 2事業を次年度に繰り越し

「繰越明許」とは、年度内に予定していた事業が完了せず、予算を次年度に繰越して完了させることです。議会の承認が必要となり、今回、「第2期災害公営住宅整備事業」、「防災備蓄倉庫整備事業」の2事業を次年度に繰り越すことを承認しました。

### 採択

#### 公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書

提出者 遠藤 浩

賛成者

渡邊 正俊  
門馬 巧  
小磯 利雄

#### 【要旨】

福島県の学校教育は、地域社会の多様な変化に応じながら、子どもへのきめ細かな対応や、ゆたかな学びの推進が求められています。

財務大臣の諮問機関である財政制度等審議会は、9年間で「現在の教職員環境を継続させながら、教職員数を3万7千人減らせる」とする「教職員定数のベースライン(案)」を公表しました。

では、生活指導・進路指導など様々な個別指導を行い、その比重は増えています。今後も、子どもたち一人ひとりに対応した教育を推進し、保護者をはじめとする地域住民からのニーズに応えるためにも、教職員の充実・確保を図ることが必要です。

#### 提出先

内閣総理大臣  
文部科学大臣  
財務大臣

# 想いを届けるために “新しい議会体制決まる”

**初議会（第4回臨時会）**

平成27年11月15日投票の広野町議会議員選挙により改選された初議会が11月25日に開催され、正・副議長選挙、総務文教、産業厚生、2常任委員会、議会運営委員会、広報委員会などの新しい構成が決まりました。



議長選挙の投票

## 議長に黒田政徳議員 副議長には北郷幹夫議員がそれぞれ就任

議長選挙は、投票の結果、黒田政徳議員と渡邊正俊議員がそれぞれ5票ずつの同票となり、抽選の結果、黒田政徳議員が新議長に就任しました。

また、副議長選挙は、投票の結果、塩史子議員と北郷幹夫議員がそれぞれ5票ずつの同票となり、抽選の結果、北郷幹夫議員が副議長に就任し、広野町議会の代表としてそれぞれの活躍が期待されます。

議長 黒田 政徳



副議長 北郷 幹夫



# 町民の負託に応え

初議会



### 産業厚生常任委員会

建設課、産業振興課、放射線対策課、町民保健課、福祉介護課、環境防災課の調査・審査を行う委員会です。

- 委員長 小磯 利雄
- 副委員長 北郷 伯弘
- 委員 塩馬 史子、北郷 幹夫、門馬 巧子



### 総務文教常任委員会

総務課、復興企画課、税務課、教育委員会、その他の調査・審査を行う委員会です。

- 委員長 遠藤 浩
- 副委員長 門馬 まりえ
- 委員 渡邊 正俊、黒田 政徳、阿部 憲一

### 広報委員会

議会の活動状況をお知らせし、議会に関心を持って頂くよう、読みやすく分かりやすい紙面づくりを目指します。

- 委員長 塩 史子
- 副委員長 阿部 憲一
- 委員 北郷 幹夫、小磯 利雄、遠藤 浩

### 議会運営委員会

議会の運営を円滑で効率よく進めるための議長の諮問機関です。

- 委員長 渡邊 正俊
- 副委員長 門馬 巧
- 委員 北郷 幹夫、小磯 利雄、遠藤 浩

### 双葉地方広域市町村圏組合議会

議員

- 黒田 政徳
- 渡邊 正俊
- 小磯 利雄

### 双葉地方水道企業団議会

議員

- 北郷 幹夫
- 門馬 巧

### 議会選出監査委員

監査委員

- 門馬 まりえ



# 追跡レポート

## あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映されたのか、対応を追跡しました。

●平成26年12月定例会● 一般質問  
門馬 巧 議員

### 災害を想定した避難訓練を実施せよ

幼稚園、小中学校を対象に災害発生を想定した訓練を実施するべきではないですか。

保護者、学校、教育委員会三者による協議の場を設け、訓練を実施し、保護者への完全な引き渡しまでの訓練の実施と検証をしていますか。

### 年2回実施していく

今後は、三者協議の場を設け、災害を想定した訓練を実施していきます。小学校は、保護者全員参加の引き渡し訓練を実施しており、幼稚園、中学校の引き渡し訓練は、今後実施していきたいと考えています。

### 災害を想定した訓練を実施

平成27年5月1日に小中学校の生徒、保護者を対象に津波・原発事故避難訓練が実施されました。今後、幼稚園についても実施される予定です。



保護者への引き渡し訓練を実施（広野小中学校）

# 6人の議員が町政を問う

## 一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いたですものです。

一般質問席（広野町議会議場）

### 保険税(料)などの減免継続を強く要望せよ

遠藤町長／8町村一体となり要望しつゝ

**北郷** 現在、上位所得者を除いて、

国民健康保険の保険料と医療費の一部負担金及び介護保険の保険料と利用負担金が、減免になっていきます。

町民が震災以前の生活を取り戻し、安心して暮らせる状況になるまで、双葉郡8町村で足並みを揃え、減免を継続するよう国に強く要望すべきではないですか。

**町長** 免除措置に対する国の財政

支援は、保険税(料)が平成28年3月分まで、医療費一部負担金等は平成28年2月分までとなっています。

引き続き免除措置が必要と考え、国の財政支援を継続するよう、国及び各関係機関に対し、要望を行っています。

今後も8町村一体となって要望を行い、併せて区域指定が解除された地域と協議のもと要望を行います。



駅東側開発整備事業イメージ図

### 新たな宅地造成事業を

遠藤町長／民間主導の整備を検討

**北郷** 帰還困難区域等住民の住

宅需要が高い状況が予想されることから、町では広野駅東側開発整備事業(第2期)を計画しており、整備エリアは、宅地造成・分譲、集合住宅で民間主導で造成・分譲を行い、工期は28年度までとなっていますが、現在の推進状況はどうですか。

**町長** 平成28年度事業は、用地を購入し、その後公募により事業提案を受け、民間主導で宅地造成事業を実施していきたいと考えています。

### 三ッ沼総合公園内フラワーパークの今後の活用は

遠藤町長／事業運営のあり方を検討

**北郷** 震災前のフラワーパーク

では、3カ所のハウスで、いちご、花、鉢物の栽培をしていました。震災後は休止しています。

この施設の今後の活用を町長はどう考えていますか。

**町長** 震災以降は、

復興関連事業所に貸与し、平成27年度からは本館を公民館改修工事に伴い移転した法人に貸与しています。温室の活用は、ふたば未来学園高等学校をはじめ、民間事業者等への貸与も含め、事業運営のあり方を検討します。



北郷 幹夫 議員



震災後、花などの栽培を休止しているフラワーパーク

### 広野駅舎の整備をせよ

遠藤町長／JR水戸支社と協議を進めていく

**門馬** 現在の駅舎は、現代において、建築様式・機能面からもマッチングしない駅舎です。

**町長** ①JR水戸支社より広野

駅舎が昭和12年12月の供用とのこと、新たな駅舎の計画が示され、駅前広場の整備と併せて協議を行っています。

②跨線橋へのエスカレーター設備は、新たな駅舎の計画協議の中で検討していますが、JRの正規職員が常駐しない駅であることから管理運営面で課題があり、難しい状況です。

③JR利用者の降雨時の対策として、屋根の設置についてJR水戸支社と協議を進めています。

- ①駅舎の近代化
- ②跨線橋へのエスカレーター設置
- ③乗降ホームへの屋根設置



門馬 巧 議員



整備が求められている広野駅舎

### 空き家等対策の進捗状況は

遠藤町長／実態把握をし、措置を適切に行う

**門馬** 適切な管理が行われない空き家は、防災・衛生・景観等地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしています。

**町長** 本町の現状は、今なお多くの町民が避難生活を強いられており、帰町・復興の途にあります。

空家等対策は、今後、町民の帰還状況を見極めながら、空家等の実態把握をして必要な措置を適切に講ずるよう努めます。



空き家等対策を適切に

### 高齢者のために駅のバリアフリー化を

遠藤町長／課題があり難しい状況

**塩** 3世代が帰町して暮らししている家族がいる反面、一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯が多く見受けられます。

高齢者が暮らしやすい町づくりをしていかねばならないという思いから、次の3点について伺います。

- ①町内居住者の65歳以上の高齢比率は何%ですか。
- ②高齢者が多い町になった以上、駅のバリアフリー化は最優先に取り組むべきではないですか。
- ③町が帰町後、様々な

団体や学生などが支援に入り、町民が気軽に集える場所の提供を真剣に取り組んでいただきたいと思います。

**町長** ①11月末現在、町内居住者2386人のうち65歳以上が748人であり、高齢者率は31.3%となっています。

②新たな駅舎の計画協議の中で検討していますが、JRの正規職員が常駐しない駅であることから管理運営面での課題があり、難しい状況です。

③駅前駐車場の一部に、小規模かつ仮設建築物ですが、平成27年度事業として「木造交流センター」の整備を計画しています。

当該施設は町民が気軽に集える場所として提供する予定です。



不安解消に向けて設置が求められる街路灯

### 不安解消のため、街路灯、防犯灯の更なる充実を

遠藤町長／計画を立て設置していく

**塩** 町の中心地から離れた所にも作業員宿舎が建つていて、見知らぬ人が多いため、町民の不安の解消、安心の確保のためにも暗い箇所への街路灯、防犯灯の充実を進めるべきと考えます。

町長の考えを伺います。

町長の考えを伺います。

**町長** 現在、町内には街路灯が102基、防犯灯が513基、駅前通りを主に商工会で設置している街路灯が64基、合計679基が設置されています。

行政区長などからの要望に基づき、現地調査を行い、随時設置している状況です。

今後は、実態調査を踏まえ年次計画を立てながら設置していきま

### 新たな火葬場の建設は

遠藤町長／総合的に勘案し、協議していく

**塩** 双葉地方広域市町村圏組合の斎場「聖香苑」について、私の質問に対し、「新たな施設の必要性を十分認識しており、広域圏組合で慎重に協議したい」と述べられました。

平成27年度もあと残り3カ月余り、具体的な協議に入ったのか伺います。

町長 帰還困難区域に施設はあり、広域圏組合の確認において、施設は停電しており、機械類の動作確認が出来ない状況です。

目視では建物の一部が損傷し、除染もされていない状況です。

広域圏組合管理者会議で、現有施設の損傷程度、放射線量の環境変化など、様々な観点から検討が必要とされ、代替施設の整備も含めて総合的に勘案して協議をしています。



塩 史子 議員

### 健診未受診者への対策は

遠藤町長／健康意識の高揚に努める

**門馬** 生活習慣病予防のために、40歳以上を対象とした特定健康診査及び総合検診事業が実施されています。

①町民が参加しやすいよう、土曜日、日曜日を入れていますが、受診率は上がっていますか。  
②今年度は、未受診者対策を実施しましたが、追加健診では受診率向上になりましたか。  
③健康無関心層にも健診に興味をもってもらう工夫を検討していますか。

**町長** ①受診率は、平成24年度が44・55%、平成25年度が45・05%、平成26年度が43・51%と、ほぼ横ばいで推移しています。

②本年度の受診率は、県外等に避難している方の受診が終了していないため、現時点では確定していません。  
9月27日に保健センターで実施した追加健診受診者数は60人であり、前年度より5人増加しています。

③継続的にハガキや電話による受診勧奨をはじめ、健診の重要性について周知を図り、疾病の早期発見や生活習慣病の予防・重症化防止につながる健診の意義を十分認識してもらえよう、健康意識の高揚に努めます。



町で実施している健診の様子（保健センター）

### 初期被曝への対応は

遠藤町長／不安解消に向け対応していく

**阿部** 初期被曝による健康被害はとりわけ深刻であり、町に居残ったり、すぐに戻った人が何人もいて、健康被害が強く懸念されます。

町はなせいまだに国や県に対しこの実態調査を求めないのですか。  
あるいは、独自の対応をいかに進めようか。

**町長** 広野町放射線健康アドバイザーとして医師を選任しています。  
除染事業の進捗にあわせて外部有識者による「広野町放射線健康対策委員会」を設置し、関係各課との連携強化に努めています。

**阿部** 町長が町長選挙の際、「毎月10万円もらえるようにします」とあの公約はいつの頃ですか。

約はいつの頃ですか。町民はすぐと期待しており、仮設住宅などを回って皆さんにきちんと説明するべきだと考えますが、町長の考えはどのようか。



阿部 憲一 議員

**町長** 自治体間の格差を是正し、生活再建に対して支援をするよう、今後も継続的に要望・要請を行ってまいります。

### データヘルス計画を策定せよ

遠藤町長／現在、計画を策定している

**門馬** 三島町では、この計画を策定し、見えてきた課題が明確になったこととです。  
当町でもデータヘルス計画を活用されていますか。

※レセプトとは？  
患者が受けた診療について、医療機関が保険者（市町村や健康保険組合等）に請求する医療報酬の明細書

**町長** ※レセプトなどのデータを分析し、健康課題を明確にしたうえで保健事業を展開し、評価をしていく事業計画であり、平成27年度から平成29年度の3年間実施するものです。  
現在、計画を策定中ですが、データ分析から見える本町の健康課題は、脳疾患や心臓病による死亡率が国・県と比較して高いこと、メタボリックシンドローム該当者や血糖・血圧の有所見率が県内で上位であることなどです。  
国民健康保険部門と保健部門との情報共有に努め、健康づくりを推進します。



門馬まりえ 議員

### 放射能問題に関わる適切な人材確保を

遠藤町長／適切な人材を確保している

**阿部** 町長は、これだけ汚染された町へ町民を戻すために山下俊一氏の弟子の熊谷敦史氏や「原子力村」の人物を起用して様々なやり方で「広野町は安全・安心」のマインドコントロールをされています。  
西尾正道氏など長年被曝の危険性の問題に取り組んできた人材に町民の指導を仰ぐべき

**町長** 「放射線健康対策委員会」の委員や「放射線相談室」の専門職員は、放射能に関する知見や経験を十分に有している人材であると認識しており、引き続きご尽力を頂きたいと考えています。

### 被曝に関する認識は

遠藤町長／安全安心に生活できる環境整備に取り組む

**阿部** 町内は、セシウムだけで10万から60万ベクレル/mあります。  
ここ数年の国内外の研究では、外部被曝だけでも10ミリシーベルト（ここ）に約3%発がん率が上がることが明確になつており、内部被ばくも同様ならば、町内に5年も住めば計10ミリシーベルトになり、今の2300人なら、やがて69人が発がんするようになります。  
そして、一般公衆の

被曝限度は内部被曝を含めて年間1ミリシーベルトと法に規定され、判決もあります。  
町長は、一体何を根拠にして「広野町は安全・安心」だと言っているのか。

**町長** 除染を実施し、被ばくリスクを低減に努めています。  
また、その除染の効果などの評価をする「広野町放射線健康対策委員会」を設置し、検証・評価を頂いています。

### 地域包括ケアシステムの推進は

遠藤町長／課題の共有を図り、構築を検討

**門馬** 国は地域包括ケアシステム構築を推進し、セミナーや会議等も開催しています。

この事業は、医療や介護、予防、生活支援、住まいを一体的に提供し、介護が必要になつても住み慣れた自宅や地域で暮らせるようにすることが目標です。  
町では、具体的にどのようなに進めるのですか。

平成28年度には、医療機関、介護施設、社会福祉協議会、民生委員、保健師等を構成委員とした地域ケア会議を立ち上げ、平成29年4月からは新しい総合事業を実施する予定です。  
また、平成29年は第七期介護保健事業計画の策定年度となり、計画の策定に併せ、地域の支え合いによる地域包括ケアシステムの構築を検討します。

### 弁護士を設け補償・賠償の交渉をせよ

遠藤町長／集団訴訟は考えていない

**阿部** 町民は、補償・賠償のことで幾つも共通の問題を抱えています。東京電力を相手に個人交渉では不利です。  
町はこの状態を放置しておくのですか。

**町長** 町として集団訴訟への取り組みを行うことは考えていません。

### 一人暮らしや困窮者に対する対策は

遠藤町長／関係機関と協力し支援していく

**阿部** 遠方で一人暮らしになつて経済的にも困窮している人が多数いるように、私にも電話があり、放置できません。  
一人一人実態把握をし、何が必要なのかをまとめ、対応を執る必要があります。

**町長** いわき市内の仮設住宅、借り上げ住宅は、絆づくり支援員又は看護師が家庭訪問を実施しています。  
経済的困窮者には、民生委員の相談をはじめ、社会福祉協議会で生活援助資金を貸出しています。

絶対に自殺者を出してはいけません。どう対応しますか。

自立困難な方には、生活保護申請を勧めるなどの対策を実施しています。

### 賠償への取り組みは

遠藤町長／継続して強く要望

**小磯** 東京電力に対し、行政避難に伴う損害及びコミュニケーションを喪失したことによる損害賠償を求めていると思いますが、

①これまでの行政賠償請求総額と支払われた実績、その内容をお知らせください。

②原発事故による損失等、町有財産について確定しているのか。

③平成27年度以降、行政賠償請求の取り組みは。

④個人賠償請求に対する行政姿勢は。

**町長** ①請求総額1億7987万円に対し、4320万円が支払われていま

す。その内容は、一般会計の事業に要した費用として1億4062万円の請求に対し、支払額が763万円、下水道事業の減収分と

して3924万円の請求に対し、支払額が3557万円です。

②平成23年度分は、東京電力に賠償請求しましたが、平成24年度以降は、補助事業等で対応しています。

平成24年度から平成26年度の生活環境整備事業及び震災復興特別交付税事業の事業費は約55億円となり基本的に補助率は100%です。

③原発事故に起因して要した経費のほとんどが、震災復興特別交付税により補填されていますが、交付金で補填されない損害等は、東京電力に対し随時請求します。

④引き続き国及び関係機関に対し要望活動を行い、東京電力には、確実かつ実情に即した賠償への対応に取り組むよう強く要請していきます。



小磯 利雄 議員

### 仮設・借上げ住宅の供与期限に関する対応は

遠藤町長／住宅等へ円滑に移行できるよう取り組む

**小磯** 県より平成29年3月末をもち、供与対象外の通知がありました。

①供与期限についてどう対応しますか。

②自宅が地震・津波で被災し、移転先住宅が確保されない世帯数と対応策をお聞かせください。

③仮設住宅の集約等についてお聞かせください。

④今回の「供与期限」に合わせ、被災者支援の医療費一部負担金免除・高速道路無料措置等の打ち切りが無いのですか。

**町長**

①県と連携を図り、住民の意向調査による実態把握に努め、住民の理解のもと個別訪問を実施し、自宅等の恒久的な住宅に円滑に移行できるように取り組みます。

②正確な世帯数の把握はできていませんが、本町が実施した町営住宅を含む家屋等の解体撤去件数及び住宅再建支援制度の活用の実態調査によると、約80世帯です。

未再建者への対応は、早期に再建できるよう住宅再建支援制度の活用などを説明します。

③住民のコミュニケーションが保持できるような集約化を視野に入れ、県と協議をしていきます。

④年度ごとの国の予算措置により実施されており、現時点では、平成28年3月以降の取り扱いについて連絡はありません。

今後継続の要望をさせていただきます。

### 工事に係る財源は

**塩 史子議員**

町施行で行うというのですが、財源は何を使うのですか。

**坂本建設課長**

財源は、復興交付金を活用して工事を行います。

### 開通の予定と町道の維持管理の問題は

**坂本紀一議員**

平成28年3月31日が工期となっておりますが、開通の予定はいつですか。

**坂本建設課長**

広野小高線の開通が平成28年3月いっぱいを目指しているということから、日の出橋についてもそれに合わせよう努力していきたいと考えています。

維持管理については、費用がかかるという中で、道路の整備は計画的に整備していきます。新たな道路は議会と相談しながら進めていきたいと考えています。

作業員等で車が多いため、町全体を見ると町道の整備をしていかなくてはいけないと思いますが、維持管理がかかるため、必要な道路以外は作る必要はないと思います。どのように考えていますか。

# 日の出橋橋梁整備工事に係る議案を可決

## 駅東側の復興、生活環境整備に向けて

平成27年10月16日に第3回臨時会を開きました。

日の出橋橋梁整備工事に係る「工事請負契約の締結について」の議案を全会一致で可決しました。

橋梁の上部工及び護岸の工事を町事業で取り組む計画であり、折木地区から一般県道広野・小高線、駅周辺市街地を結ぶ道路です。

工事の名称	日の出橋橋梁整備工事
施行場所	下浅見川字前川原地内
工事請負代金	3億240万円
工期	着工 平成27年10月17日 完成 平成28年3月31日
請負者	田中・五社山特定建設工事共同企業体



県事業の橋梁下部工は完成

### インベシヨン・コースト構想への提案は

遠藤町長／果たせる役割と優位性を提案

**小磯** ①※インベシヨン・コースト構想とは？

実施した8カ所の内3カ所では貯水がなく、農業水利施設としての機能がないたため対策は行いませんが、残り5カ所の内、関の上と苗代替の2カ所は、先行して今年度対策を実施します。

また、今年度32カ所の内21カ所の詳細調査を実施し、農業の振興を図ります。

③事故防止運動期間中に交通安全啓発活動を行っています。

今後、警察、関係団体と連携し、交通事故防止に努めます。

**町長**

①構想の具体化に向け、国、県、市町村をはじめ関係者が一体となって取り組みを進めることになっていきます。

町が果たせる役割と町の優位性について会議で提案しています。

②ため池40カ所の内、32カ所で基礎調査、8カ所で詳細調査を実施しました。詳細調査を

※インベシヨン・コースト構想とは？  
浜通り地域での将来的な発展の可能性を持つ新産業の一端を示し、地域の企業や住民と一体となった「新生・浜通り」の検討を進めていくための骨格を定めるもの



# ま ちがと インタビュー

## 今年1年を心身ともに健康に暮らすために 健康維持・生活習慣病予防に向けての取り組み

東日本大震災から4年10カ月が過ぎました。心身共にストレスや不安を抱え、運動不足や食生活の問題により、生活習慣病などの問題が考えられます。それらを解消するために、どのようなことに取り組んでいるかお伺いしました。



菅野 定子さん  
(下北迫・二ツ沼)

近くのパークゴルフ場でパークゴルフをしています。いろいろな活動に参加することで人とふれあい楽しむことができ、頭と体を鍛えています。

仮設住宅にいた時は何が原因という訳でもなく体調不良が続いていました。27年3月に広野に戻って来てからは、とても気分良くなっています。この健康を維持するためには何かしなうと月に2回手芸教室に行き、3B体操をし、



運動不足解消のため適度な運動を



渡邊 栄一さん  
(折木・上原)

私は昭和6年2月生まれで今年85歳です。

2町歩からの稲作りをし、農作業のない時は車の往來の少ない時間帯に毎日4km約1時間歩いています。

健康ならば先代からの田畑を荒らさずに済むし、老いてから子どもたちの負担を1カ月でも2カ月でも減らすことが出来ると思っています。健康は何もしないでは守れません。自分自身の努力が第一です。

## 編集後記

この「議会だより」も、編集サイドの都合や変えればいけないの決めごとを優先させるのではなく、何よりも、市民が何を求めているか、何を知らなければならないかの視点を真ん中に据えた編集が求められていると思います。

一番の課題は、我々にそれに応える態度があるのか、やる気があるのかのようです。

(阿部 憲一)



新春を告げる「水仙」

発行・編集責任者

議長 黒田政徳

広報委員会

委員長 塩 史子

副委員長 阿部憲一

委員 北郷幹夫

委員 小磯利雄

委員 遠藤 浩

次の定例会は3月です

